

周術期口腔ケア体制基盤整備事業（平成25年度～27年度）

取組

- ◆専門性の高い歯科医師の養成
医科から安心して患者を紹介できる歯科診療所を増やすため、歯科医師、歯科衛生士の養成を行うカリキュラム作成、研修テキスト作成、研修実施
- ◆患者等への普及啓発
患者や家族向けの普及啓発リーフレット、ポスターを作成し、モデル病院で使用
- ◆病院との連携のモデル実施
歯科のある病院、歯科のない病院において、連携の流れ、ツール等を検証

効果及び課題

- ◆地域の歯科医療機関数の不足
 - ・研修終了者を中心に積極的に周術期患者を受け入れる地域の歯科診療所は増えているが、患者はかかりつけ歯科医への受診を希望することが多いため、より多くの歯科医療機関での受診を可能にする必要がある。（モデル事業の駒込病院での紹介例（第1四半期）：41例（うち、研修終了医療機関2例））
- ◆病院医師・看護師や患者家族の理解不足
 - ・周術期口腔ケアや歯科受診の大切さについての認識が不足しており受診に繋がりにくい
- ◆病院との連携の強化
 - ・モデル事業をきっかけに、病院から歯科診療所への診療情報提供書や報告書の記載内容を病院と地区歯科医師会で調整し共通ツールとして開発するなど地域との連携強化のための取組が進んだ。一方で、実際の患者紹介が進まないため、病院と地域の歯科医療機関との信頼関係が十分構築できていない地域もある

事業目的

平成25年度から27年度までにモデル的に実施した周術期口腔ケア体制基盤整備事業の取組を踏まえ、がん患者等が治療の苦痛を軽減し、患者のQOLを高めるために、歯科医療従事者の育成、病院との地域の歯科医療機関との連携を都内全域で推進していく。

事業内容

地域の医療従事者への研修

研修会の実施（平成28年度進捗状況）

- ・第1回研修会の実施、研修終了者のいる歯科医療機関へのポスター配布（7月）
- ・研修終了者のHPへの掲載（5月）

⇒29年度についても、さらに研修を充実させ、患者が地域のかかりつけ歯科医で周術期の口腔ケアを受けられる体制を強化していく。

地域における病院・診療所の連携

- ① 地域の病院と診療所による連携会議の開催
 - ・地域の病院と診療所が顔の見える関係を構築するための連携会議
 - ・地域における連携ルールの検討
 - ・連携病院に研修終了者リストを配布し、連携を推進
- ② 地域での研修会の開催
 - ・病院内の周術期口腔ケアの意識醸成を図るため歯科医師を講師として病院へ派遣
 - ・診療所に病院が求める対応等について病院医師を講師として地区歯科医師会へ招へい

《28年度》

- ・55地区歯科医師会にアンケート調査を実施（5月）
- ・アンケートに基づき、連携事業を進める地区を選定（6月）
- ・連携事業を進める地区に対し、説明会を実施（7月）

《29年度》

連携強化を実践する地域を拡大

《2か年の事業計画》（地域医療介護総合確保基金を活用）

	平成28年度	平成29年度
検討会	・モデル事業の検証 ・地域連携研修内容策定	・進捗状況確認 ・地域連携研修見直し ・事業検証・総括
研修	・第1回研修実施 ・第2回研修実施	・第1回研修実施 ・第2回研修実施
地域における連携	・連携会議・勉強会実施 (4地区)	・連携会議・勉強会実施 (8圏域)

予算規模

平成29年度 6,355千円
※ 地域医療介護総合確保基金を活用